

第3回地域の公共交通リ・デザイン実現会議 地域課題の解決を促進する都市間輸送の高機能化

2023年11月16日
東日本旅客鉄道株式会社
取締役会長 富田 哲郎

これまで、関係省庁及び自治体・事業者による交通分野と他分野との連携・協働に関する取組みとそこから見えてきた課題について、ご紹介を頂き議論をしてきた。前回の各省庁の課題、今回の自治体及び事業者の課題のいずれについても、既存資源の活用により地域課題が解決できる部分と、現行規制の見直しをはじめとする国主導の動きが必要な部分が見えてきている。地域が抱える課題の解決を、交通のり・デザインを切り口として官民の多様な関係者が連携・協業して進めていくことが重要である。

(1) 幹線鉄道ネットワークの利便性・速達性の向上

新幹線鉄道及び在来線特急が主要都市間を結ぶ速達性は、都市間の交流人口の拡大に重要な役割を果たす。整備新幹線計画に含まれていない山形・秋田両新幹線のように、直通サービスによる利便性・速達性の向上も効果的なサービス向上といえる。現在、山形・秋田両新幹線については、輸送安定性の向上、災害リスクの低減及び到達時分の短縮を目的とした短絡トンネルを整備検討中であり、国及び地元自治体への支援をお願いしている。

山形県の資料によれば、山形新幹線開業後に観光者数増加や企業誘致が進んだとのことで、幹線鉄道の利便性・速達性の向上の取組みに加え、自治体のご努力のおかげで、山形県に大きな経済的効果をもたらしているものと考えている。

一部の地方自治体では、大学等へのアクセスを支援するため、交通費助成等による地域間長距離移動の費用負担軽減の施策を独自に行っているが、幹線鉄道の利便性向上・高速化を図り、長距離移動の負担がより軽減されれば、地方移住や定住の促進に繋がるであろう。

今後、地域課題の解決に向け、幹線鉄道と地域交通等の交通モード同士、交通と他分野との連携・協働を推進していくにあたり、幹線交通ネットワークの強化が果たす役割は大きい。これまで、幹線鉄道ネットワークの利便性・速達性の向上に資する施策は、交通事業者の負担で実施してきたもの、鉄道整備スキームを用いて国及び自治体の支援を得ながら実施してきたものがある。幹線鉄道ネットワークの強化には、広域的な地域課題を解決する一方、多大な事業費を要することから、既存のスキームによらず、事業の特性に応じて公的負担を柔軟に対応するなど、国及び自治体の積極的な関与を強くお願いする。

(2) 交流人口の拡大と地方製品の消費拡大への貢献

当社では、農繁期の人手不足解消による地域農業の振興と、交流人口の拡大による持続的な地域活性化に向け、今年度から会社が認める副業の対象として農業を追加した。

農業の副業は1日単位で挑戦のハードルが低く、すでにリピートして就業する例も複数ある。併せて、当社の持つ既存資産を活用し、当社社員が農業の副業やボランティアで収穫した作物を幹線鉄道で運び、首都圏の駅で販売するという取組みを行っている【別紙1】。

地域産業の労働力確保に向けた副業・兼業の拡大、物流面での「2024年問題」の影響の緩和、地方産品の販路拡大による消費促進等、社員の活躍の場の拡大と幹線鉄道ネットワークの利便性・速達性の向上が地方創生にもたらす効果は大変大きいと考えている。

「地域の交通り・デザイン会議」は地域の社会的課題を関係省庁が一体的に解決・推進する会議体であるからこそ、地方を元気にしていくエンジンとして本会議が機能し、自治体、交通・物流事業者、地域産業事業者等の多様な関係者の連携・協働に向けた、国土交通省のリーダーシップに強く期待している。

(3) デジタル技術の活用による地域の公共交通の利便性・持続可能性・生産性の向上

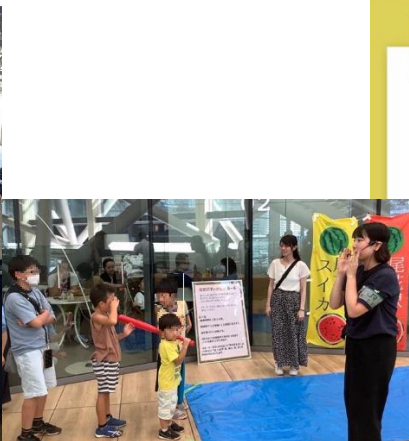
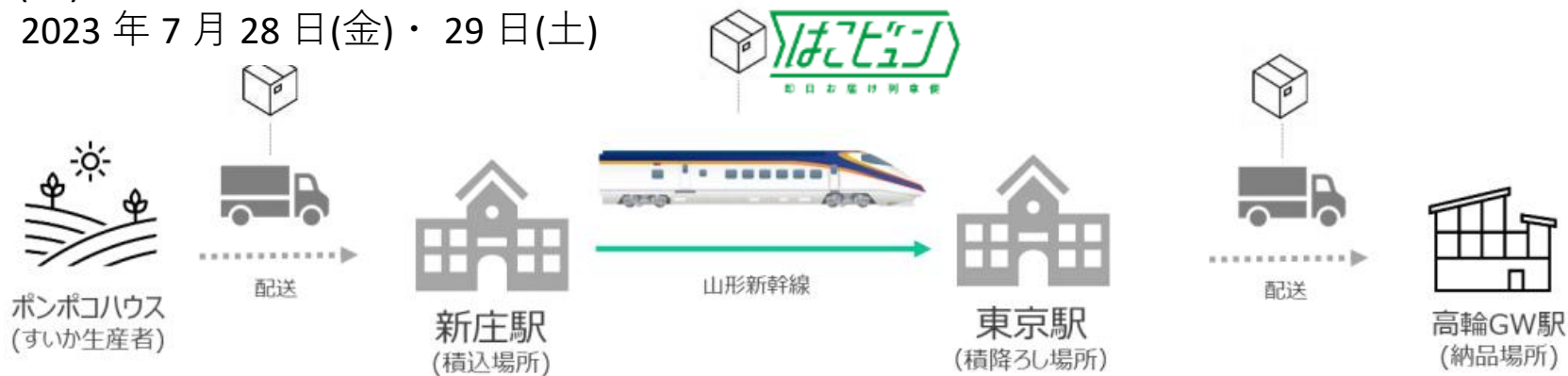
デジタル技術の活用には、「デジタルインフラ環境の整備」が前提となる。その一つとして、当社は「地域連携 IC カード(地域独自に使える機能を盛り込んだ Suica 等)」を展開している【別紙2】。担い手不足の問題が顕在化しているバス、タクシー業界において、両替・料金収受の省力化による運転手の負担を軽減すると同時に、キャッシュレスによりインバウンドのお客さまへの対応の円滑化にも寄与する。

また、すでに前橋市や群馬県が取り組まれているが、マイナンバーカードと Suica を紐づけることにより、マイナンバーカードを持ち歩くことなく、Suica だけで交通運賃の市民割引を実施している。将来的には、地域の商店街で特典を受ける仕組みができることを目指している。デマンド交通をはじめとするシームレスな移動の実現と地域の実情に合わせた施策の拡大は、公共交通の利便性・持続可能性・生産性の向上に資することからも、引き続きの支援をお願いしたい。

■ 農業副業の導入×はこびyun(列車による荷物輸送サービス)

当社は山形県の協力のもとNTT東日本及び東北電力株式会社と連携し、農繁期の人手不足解消による地域農業の振興と交流人口の拡大による持続的な地域活性化に向け、企業人の副業・ボランティアでの農作業支援の実証実験に取り組む。

(例) TAKANAWA GATEWAY BEER FES.
2023年7月28日(金)・29日(土)



スイカ割り&お振舞イベント

7/28 FRI 18:30
7/29 SAT 13:00/15:00

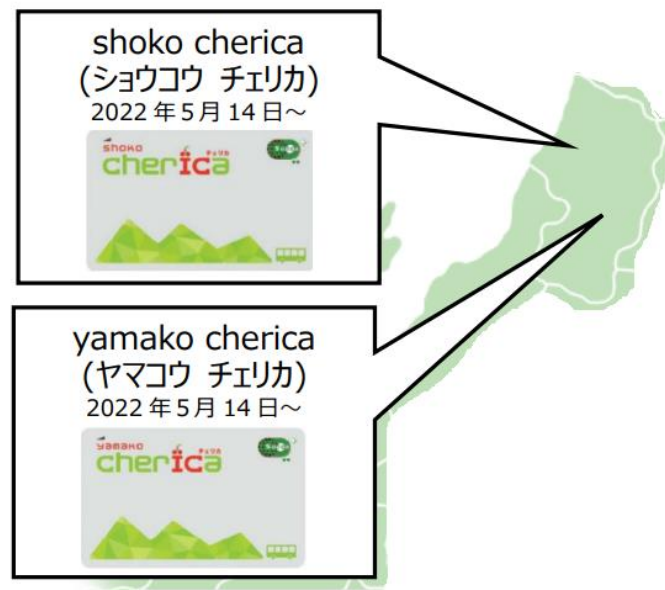
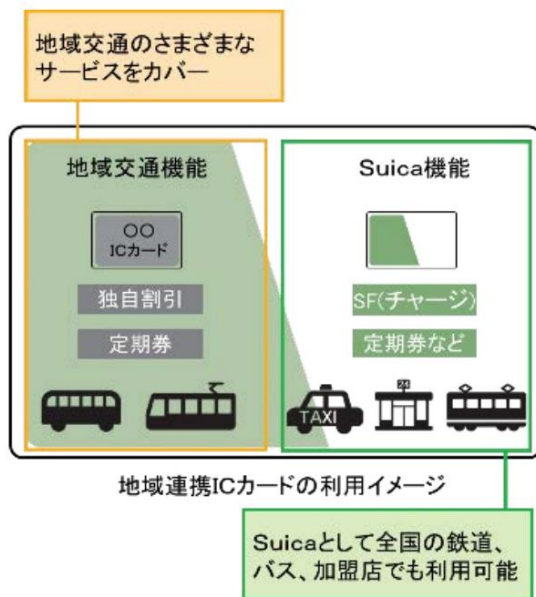
飛び入り参加大歓迎!

「スイカの名産地」山形県尾花沢市から採れたてのスイカをお届け!お子さまにもご参加いただけるスイカ割りイベントの他、マルシェご購入の方限定でスイカのお振舞を実施します!

※なくなり次第終了

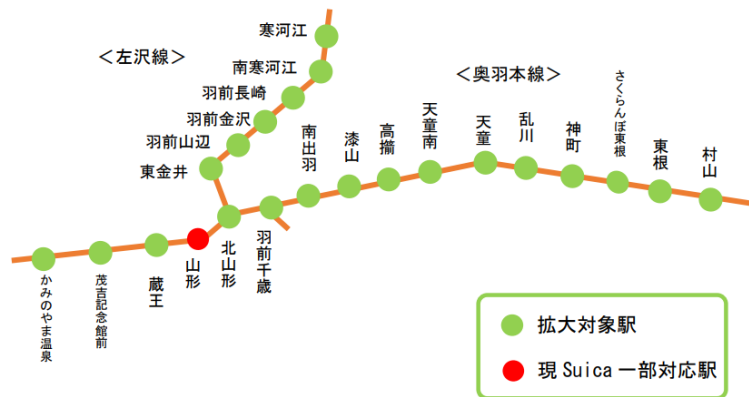
■ 地域連携ICカード(山形県での展開)

地域のバス事業者が運行するバスの定期券や各種割引などの地域独自サービスの機能に加えて、SuicaエリアおよびSuicaと相互利用を行っているエリアで利用可能な乗車券や電子マネーなどのSuicaサービスが1枚で利用可能な 2in1 カード(山形県ではcherica)を展開



■ Suica利用エリアの拡大(山形県)

お客さまの利便性向上を目的として、山形県の21駅を対象にSuicaをご利用いただける駅を拡大(サービス開始時期は2024年春以降を予定)

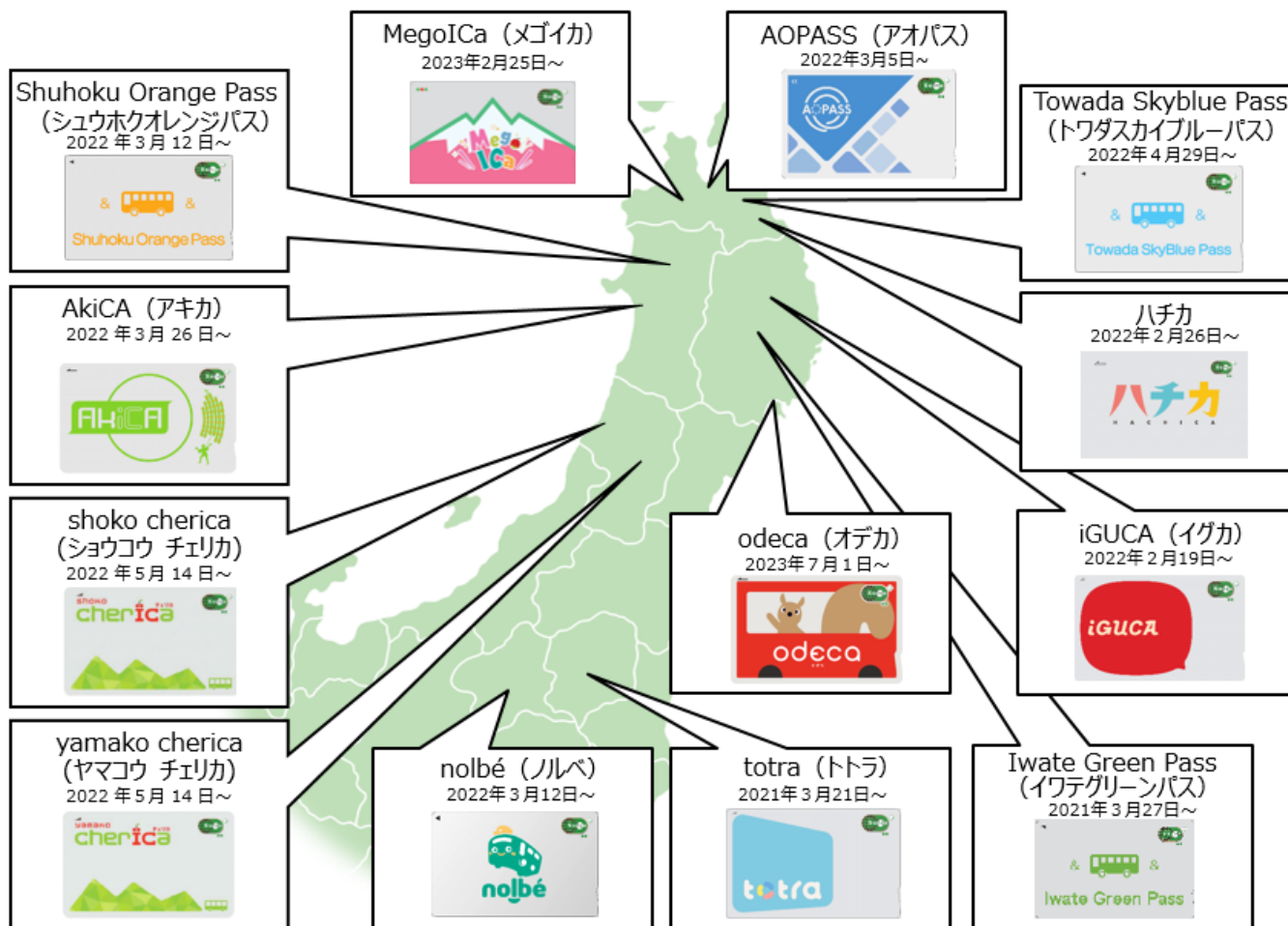


■ 地域連携ICカード(東日本エリア内での展開)

バス定期券や割引等の地域独自サービス

Suicaエリア等で利用可能な乗車券や
電子マネー等のSuicaのサービス

地域交通事業者への
導入を推進



■ 地域・観光型MaaSの展開

観光のお客さまだけでなく、地域にお住まいの方の利便性向上を目的として交通・観光チケットの検索・予約・購入ができるWebサービス等を提供



GunMaaS
INNOVATE YOUR TRIPS

群馬県主催

2023年3月15日～：社会実装
MaeMaaSをベースにしてリリース



TOHOKU MaaS

2020年2月：仙台エリア
2020年9～11月：仙台・宮城エリア
2021年4～9月：東北全エリア
2022年4月～：社会実装

Tabi=CONNECT



旅する北信濃

2022年4～6月
2022年10月～2023年3月
2023年4月～：社会実装

Tabi=CONNECT



NASU-Ways

MaaS for NASU Trip

2023年8月～

Tabi=CONNECT



in De Yamanashi

2023年7月～

Tabi=CONNECT



回遊軽井沢

2022年1～3月
2022年9月～2023年3月
2023年10月～

Tabi=CONNECT

西武HD
共催



伊豆navi

東急・伊豆急
共催

2022年11月～：社会実装

Tabi=CONNECT



2023年8月～

Tabi=CONNECT



ひたち
のくに 紀行

2022年10月～2023年3月
2023年10月～

Tabi=CONNECT

